



広報

うまじ

第249号



平成21年10月1日発行



負けんぞ!!

目次

| | |
|--------------------|-------|
| 特集 文化の秋 芸術の秋 | 2・3 |
| 自治体財政健全化法に基づく4つの指標 | 4 |
| 祝敬老・馬路村俳壇 | 5 |
| 安田川山物語 | 6・7 |
| 続・馬路村の巨樹名木⑦ | 8 |
| 馬路村の歴史と伝説 | 9 |
| おらが村の学校だより① | 10・11 |
| Hello!ナオミよ! | 12 |
| Dr.内田のひとりごと | 13 |
| お知らせ | 14 |
| 行事予定表 | 15 |
| 村内あちらこちら・村のできごと | 16 |

9月21日、馬路村民民グラウンドにおいて、馬路保育所・小学校・中学校の合同運動会が開催されました。新型インフルエンザにより、2週間前には、中学校で学年閉鎖があるなど、開催が危ぶまれましたが、無事終えることができました。上記写真は中学生の学年対抗リレーの瞬間です。



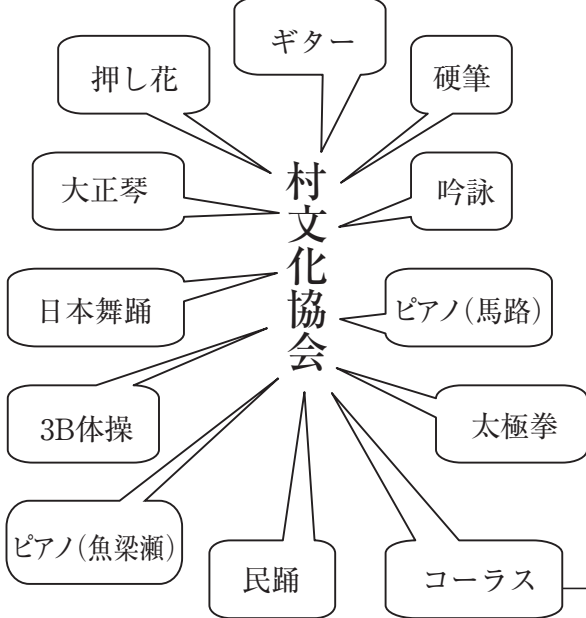
特集①

文化の秋 芸術の秋

秋の季節がやって来ました。この季節は食べてよし（食欲の秋）、動いてよし（スポーツの秋）、学んでよし（文化の秋）、三拍子そろった季節でもあります。そんな秋の学びにスポットを当て、村の文化活動を今回と次号の2号にわたり特集紹介します。

現在、村では村文化協会を組織する、文化教室が12教室開講されています。

村の文化教室（12教室）



子ども硬筆教室

開講場所
就業改善センター
2階和室

開講日

毎週月曜日
午後4:00～6:00

講師の紹介

田野町在住
廣末幽念氏
「龍跳書道会」所属

受講生数

14人

活動の様子

硬筆の書き方、毎月の課題を練習し、作品を出すことによって成績の向上を目指しています。現在10級～6段の児童が学んでいます。

思いや呼びかけなど

美しい字が書けるようになると一生の宝となります。目には見えない宝を培っていく子どもたちが増えますように。



吟詠愛好会

開講場所
就業改善センター
2階ホール

開講日

毎月第1・3土曜日
毎月第2・4月曜日
午後1:30～3:30

講師の紹介

馬路村影
山中敬子氏
普通の女性で少し足が不自由ですが声はまあまあ出ます。

受講生数

9人

活動の様子

夏になると「今日は暑いねえ」、冬になると「今日はひ



やいねえ」のあいさつで始まります。

昔の詩吟と違った感じで唄を入れた優しい吟詠（歌謡吟詠）も練習しています。新しい吟詠になりますとコンダクターで練習します。それからマイクを使って練習です。10分間の休みには世間話などもするし、大声を出して笑う時もあります。

ほとんどの人が家では練習をしないでしよう。ある人は「練習せんきに上手にならん」と言ってしまうやきまます。私は練習は教場でやればよい、上手になるより、楽しくすることだと思っています。時には昼食など一緒にします。都合の悪い時は自由に休んでよいのです。特に11月はユズの時節になりますので休みます。年齢は関係ありませんので誰でも吟詠することができます。趣味の一つとして声を出すことは健康にもよいと思います。

思いや呼びかけなど

皆さん声を出して吟じてみませんか。見学も自由です。一年に一回、金林寺にて空海がお作りになりました吟詠を大師堂で詠じます。

今年には都合がつけばデイサービスセンターへ行って（歌謡吟詠）吟じたいと思っています。

♪馬路ピアノ教室♪

開講場所

就業改善センター

2階ホール

開講日

毎週水曜日

午後3:00～9:00

講師の紹介

安田町在住

南 沙織氏

ヤマハ音楽教室システム講師、またタチバナ楽器ピアノ講師として、レッスンをしている。

高知コンサートグループ会員。高知県ピアノ指導者協会正会員。



受講生数

13人

活動の様子

毎週一人30分の個人レッスン。また年一回就業改善セン

ターでの発表会を行っています。一昨年から文化祭の芸能発表会にも参加しています。

思いや呼びかけなど

皆さん、ピアノを始めてみませんか。大人は指先を使って脳の活性化に。子どもは集中力や感受性を育てる手段として。楽譜を読んで両手で演奏できたときの楽しさをぜひ一緒に味わいましょう。

♪魚梁瀬ピアノ教室♪

開講場所

魚梁瀬地区内

村宮住宅

開講日

毎週水曜日

午後5:00～9:00

講師の紹介

安芸市在住

川島節子氏

多年にわたり、魚梁瀬地区において、子どもたちにピアノの演奏を指導するとともに、著名な音楽家を招聘して演奏会を開くなど献身的な音楽活動を続けてこられています。また、毎年学校に本を寄贈するなど、教育と文化の振興に貢献されています。

受講生数

9人

活動の様子

現在、小学2年生から中学3年生までの男女8人と大人1人がアットホームな雰囲気の中でレッスンに励んでいます。自分のレッスン時間を待つ間に、先生が用意してくれる学習帳をしたり、宿題をしたりと時間を有効に使っています。

思いや呼びかけなど

子どもたちの大好きな大好きなおばあちゃん先生!いつでも元気で優しい笑顔のレッスンを続けてください。



うまじ押花会

開講場所

就業改善センター

1階会議室

開講日

毎月第3土曜日

午後1:00～5:00

講師の紹介

馬路村相名

清岡潤子氏

押し花歴は15年。インストラクター資格(ふしぎな花俱樂部)は2003年に取得。押し花を利用した額絵を手ほどきしてくれたのは大学時代の京都在住の友人でした。その時に押し花にはまってしまっって現在に至っています。3年前に退職と同時に高知市から帰ってきました。

受講生数

6人

活動の様子

月一回の活動ですが、大変楽しく取り組んでいます。お花が大好きな仲間ばかりで、いつもワイワイ言いながらそれぞれが好みの作品を仕上げています。

作品は個性的ですよその教室のように決まったパターンに取り組んだりしないので、毎回どんな作品ができるかわからない楽しみもあります。

思いや呼びかけなど

草深い土地ならではの珍しい草花が実にたくさん手に入ります。馬路ならではの感性豊かな仲間の作品は素晴らしく、これからはますます楽しみです。

村文化協会とは

村内の文化、芸術関係団体の代表者及びこの会の趣旨に賛同する者をもって構成しており、地域住民と一体となり、地域の芸術、文化の振興に資することを目的としています。

現在、会長は丸山佳子氏、副会長は清岡宏敏氏、理事には各文化教室の代表者だけでなく、保育所小・中学校、婦人会や青年団の代表の方も加入しています。

主な活動は、各文化教室の連絡調整や、芸能発表会、文化祭の開催などです。

事務局は教育委員会で行っております。



**平成20年度
自治体財政健全化法
に基づく4つの指標
を公表します**

○実質赤字比率

普通会計（一般会計と診療所会計）の歳入総額から歳出総額を差し引いた額と※標準財政規模との割合のことです。黒字なのか赤字なのか判断する指標です。

プラス数字ですと赤字。マイナス数字ですと黒字ということになり、馬路村は、マイナス9・06%で約90,624千円の黒字となっています。

○連結実質赤字比率

普通会計だけでなく、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護サービス特別会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額と標準財政規模との割合です。

特別会計を合わせて黒字なのか赤字なのかを判断する指標です。

馬路村の連結赤字比率はマイナス10・00%100,001千円の黒字となっています。

**【参考】判断基準について
主要健全化比率の算定基準**

- 実質赤字比率
 - ・早期健全化基準 … 市町村は財政規模に応じて11.25～15%
 - ・財政再生基準 … 市町村は20%
- 実質公債費比率
 - ・早期健全化基準 … 市町村は25%
 - ・財政再生基準 … 市町村は35%

○実質公債費比率

公債費（村の借金の返済額）と標準財政規模との割合です。18%を超えると危険エリアとされていますが、馬路村は14・9%となっています。

○将来負担比率

地方債現在高（借金の総額）、中芸広域連合等への負担金、職員の退職金引当金等一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

馬路村はマイナス92・0%となっています。これは馬路村は標準財政規模を超える基金（預貯金）を持っているため、将来負担すべき負債を基金ですべて賄えることを示しています。

※標準財政規模とは

地方公共団体の標準的な状態で、通常収入される見込みの経常的な一般財源を示すものです。

標準財政規模 = 標準税収入額 + 普通交付税

標準税収入額 = (基準財政収入額 - 地方譲与税 - 交通安全対策特別交付金 - 地方特例交付金 - 市町村民税所得割 (うち税源移譲相当額) × 25%) × 75% + 地方譲与税 + 交通安全対策特別交付金 + 地方特例交付金

**平成20年度
馬路村人事行政
運営状況**

1. 職員の任命及び職員数に関する状況

- ・採用者 0人
- ・職員数 42人
- ・退職者 2人

2. 職員の給与の状況
前号の広報うまじに掲載していますのでご覧ください。

3. 職員の勤務時間

○勤務条件の状況
休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき

- ・1週間あたり 40時間
- ・始業時間 8時30分
- ・終業時間 17時30分

※特殊性のある職務については別途勤務時間を定めている。

○休暇等の状況(平成20年中)
・年次有給休暇の取得状況

| | | | |
|------|-------|----|-------|
| 付与日数 | 1632日 | 全員 | 一人当たり |
| 取得日数 | 4125日 | | 389日 |
| 取得率 | 25.2% | | |

・病気休暇の取得状況

取得人数 9人
取得日数 218日

4. 職員の分限及び懲戒の状況

休職 2人
減給 0人

5. 職員の服務の状況

・育児休業及び介護休暇取得者 1人

6. 職員の福祉及び利益の保護の状況

・職務専念義務免除の状況 5人 延べ13日

○健康診断及び人間ドックの実施

・健康診断受診者数 5人
・人間ドック受診者数 35人
・公務災害 0件

7. 研修の状況
(こうち人づくり 広域連合での研修)

・能力向上・開発研修等 42人

8. ※互助会に対する公費負担状況について

○互助会に対する公費負担額 975千円

○会員一人当たりの公費の補助金額

22,674円

※互助会とは県内の市町村等を構成団体として、それぞれに勤務する職員の福利の増進と向上を図り、地方自治の振興に寄与することを目的として設立された財団法人

祝 敬老

平成21年度 敬老会
 9月8日 魚梁瀬地区
 9月9日 馬路地区

村では、毎年9月1日現在で75歳以上の方を対象に敬老会を開催しています。

魚梁瀬地区は41人の対象者のうち15人が参加。式典では参加された米寿の方2人に村長から長寿祝金が贈られました。



▲長寿祝金の贈呈

式典のあと、行われた演芸の部で、保育園児、小学生、中学生の踊りや歌、器楽に目を細め喜んでいました。元氣いっぱい踊りで舞台から落ちそうな保育園児にヒヤリとした場面も。小学生からは

のこもった手作りプレゼントもありました。また安芸警察署により「振り込め詐欺の寸劇」、被害に遭わないための話を熱心に聞いていました。

昼食会では、話に花が咲き終了予定時間を超えて楽しんでいました。

馬路地区は167人の対象者のうち71人が参加。式典では村長が式辞で対象者数を述べると驚きの声。参加された喜寿の方9人、傘寿の方4人、米寿の方5人に村長から長寿祝金が贈られました。

演芸の部は、インフルエンザで中学生が出演できないハプニングがありました。保育園児が自分のおじいさん、おばあさんの名前を忘れ困った顔に笑いが起きたり、小学生の楽しい詩の朗読に吹き出したりと楽しんでいました。



▲拍手喝采

馬路でも安芸警察署の「振り込め詐欺の寸劇」が行われ、署員の方も2日目で慣れたのか、せりふで笑いが起こることも。

食事会でも、久しぶりに顔を合わせて楽しい会話が飛び交っていました。

皆さま、来年もお元気で敬老会にいらしてください。



▲参加者全員で記念撮影（馬路地区）

賀寿（長寿の祝い）について

- 還暦：61歳
- 緑寿：66歳
- 古希：70歳
- 喜寿：77歳
- 傘寿：80歳
- 米寿：88歳
- 卒寿：90歳
- 白寿：99歳



馬路村俳壇

てぎわよく鰻を捌く嫁と住む

仲秋や母は明るき唄うたう

新涼やゴーヤの蔓のまだ伸びて

せがまれてやっとなきを栗おこわ

別れ蚊を気にもとめずに夜の膳

盃かわす名前知らなき秋祭

落鮎のゆずたつぷりと姿鮎

ひまわりの花卉のければ我に似る

神の実雨のあがりし屋敷神

熱き茶を分ける人なくきりぎりす

天主閣みえて昇段試験かな

鳴りはじめむからくり時計秋日濃し

魚より子供の多きあめぐ取り

夕立はかみなり様のかくれんぼ

秋風や頭はさむき露天の湯

ひるの虫那智の神社にぬかずきぬ

母刀自のふかき寝息や夜の長き

バンガロー天蚕ひとつ拾ひけり

十六夜の月の恋しき島の宿

瀬戸内の島八百や登高す

逢うことのたのしき岸の彼岸花

山崎喜久子

高芝 栄子

西山 徳裕

山本 美幸

中屋 良子

小松 健児

中村 朔

山崎 裕之

氏原 淑

池 蘭子

東谷 晴男



やすだごうやま 安田川山物語

ながたきひのきたてやま

— 長滝檜立山のふもとで — (6)

文・構成 / 清岡博之

昨年の「12月広報」から連載してきた。今号はそのほかのできごとに簡単にふれて最後のまとめとする。

◇ 山まつり

前年度分の計画事業を達成し終え、新年度が始まる4月に「山まつり」と称する安全祈願祭を行った。

神官をまねき「山の神」の祠前で神事を執り行ったあと、久敷にある事務所の客室で折り弁当と酒で祝う。そのままとひよう組は合同だった。

山をおりて運動会も

職域5チームが対抗

◇ 休日

定目じょうもくといって毎月28日が定休日だった。大雨や大雪、農繁期には任意で仕事を休む。昭和36年ごろになって毎日曜

日が休みとなる。

定目の前日には仕事を終え、と歩いて家へ帰り、農作業などを済まし、29日の朝早くに山へ戻った。雨や雪で仕事ができない日には小屋で休養



運動会である。30年には優勝が保線・土場組で、河平、朝日出、安田川の各事業所が続き、署が5位となる。前年は朝日出事業所が優勝。大勢の参加者や観客があり村民運動会よりもぎやかであったという。応援の旗もなびいている。旧馬路中学校

や道具の手入れに当てる。良質のカシの木をさがして道具の柄を作るのも休日であったし、そまは「ヤ」を作り、ノコギリの目を立てた。

自分の山へ植えるために実生のスギ苗を拾いにいたり、スギの実をとりにつたりする者もいた。

みんなが一緒に休む盆・正月には機関車の便を借りてボサ箱へ乗り込

昭和37年に奥安へ事業所が移ってからはガソリン機関車1台が山持ち（事業所管理）となり、専属の運転手も配属され行き来が便利になった。住む小屋も立派で電気炊飯器で飯をたき、小型のプロパンガスで煮たきもできた。

◇ 賃金

達成した仕事量に応じて賃金が支払われる出来高制だったが、1人役いくらで支払われる直営の仕事もあった。

んだ。休みが明けて小屋へ戻るときにはミソやカンヅメなどの食料や日用品を入れた大きなリュックを背負ってくる。その姿を「入り山をする」といった。

昭和30年の仕事の出来高の1人役は650円で、直営は560円であった。2号インクラインの上段で仕事をしてきた35年12月の厘代りんだいでは1石（0・28㎡）あたり集材27円、積み込み18円、インクライン下ろし13円と記されている。ひようは組み（グループ）仕事なので組頭のような者を決めていた。組頭は日々の仕事内容を記帳し、集計したものを毎月20日しめて事務所へ報告した。報告前に作業員は組頭の部屋へ集まり、内容の確認をする。それをもとに前月の

21日から20日までの賃金が翌月に支払われる。

◇ 幕をとじる

上流域の伐採・搬出を終えた36年の4月には、切り残してあった中・下流域の軌道下の搬出を残すのみとなった。

伐採・造材をすでに終えた。そのまま小屋を先に出た次の山へ移り、ひょう組にも下の久敷へ下がる者があった。同年の夏には搬出もすべて完了し、この物語も幕をとじる。

30年代末には森林軌道は自動車道に代わり、事業所も日

浦の署へ下がり、作業員らも自宅からの通いが可能となった。山小屋暮らしも姿を消す。

物語をまとめるに当たって次の方々や機関にご協力いただいた。深謝する。

- 乾 正逸 乾 要人
- 乾 源規 岩城 安夫
- 岩城 幸茂 尾谷 政治
- 尾谷 花喜 清岡 勇美
- 比奈岡忠雄
- 安芸森林管理署
- 高知市民図書館『寺田正写真文庫』

馬路営林署の事務所（昭和29年竣工、工費320万円＝現馬路村農協本所）。手前から事業、経営、庶務課で30人弱の職員がいた。奥に立っているのは明治29年の初代から数えて第28代の田村朋厚署長（昭和29年7月～31年7月在任）。後に林野庁長官を経て宮崎県知事となる松形祐亮氏は、23年10月から翌年9月まで第25代の署長を務めた。



岩城安夫さん
昭和5年生まれ

営林署からの請負仕事をやっていた父親について、戦時の勤労働員から戻った終戦の8月に山仕事に入った。細めのレール1本を使う「単軌キンマ」の敷設や石を積んだ橋台づくりも手伝った。23年7月に魚梁瀬署の大谷事業所へ入った。

20年8月に勤労働員から戻って山仕事へ！

機械が好きで、インクラの上段でガソリン機関車（野村式4t車）の運転を2年間やった。大谷の口に発電所があったせい、集材には発電機ではなく220V・20馬力のモートルを使っていた。エンドレス方式ではないがドラムが3つある「三胴式」だった。小屋の風呂も電気で作っていた。途中からそまをやってみようと思いつく道具をそろえてそまの組み入りをした。

「サンパチ」と呼ぶ長さ三尺八寸のノコギリを今も持つ。サヤへは1寸ごとに目盛をつけ、山で「けんざあ」を作るときを目安とした。石仙で西川・中川から出てきた木材をつけ、魚梁瀬で谷山からのを、東川口で東川からのを、栃谷、大谷でも順番につけ、20台を超した貨車を連結して奈半利川沿いを下がついていく蒸気機関車の姿は、それは見事なものだった。今も記憶に焼きついている。



乾 源規さん
昭和3年生まれ

製材所で少し働いてから、終戦間もなく山仕事へ入った。数え年19歳ごろだった。須垣谷の奥で貨車への積み込みの仕事へついたので最初だ。当時は木炭機関車のためけん引力が弱く、貨車を5台ほどひくのが限度だった。

人間やらシシやら分からんようになって！

須垣谷がすんで長滝へ移った。発動機は力が弱かった。今の耕運機なみの15馬力で、回転も500回転/分、コイルタールのような質の悪い重油を燃料としていた。気温の低い朝には、ねばってエンジンもかかりにくく、下から火をたいて油をぬくめて流動させた。油と、排気のススで汚れ、「源規は人間やらイノシシやら分からんような格好で家へいによった」などといわれたものだ。30年を過ぎるとディー

ゼルエンジンの高速集材機が入った。100馬力・3,000回転ほどあり、ずいぶんと効率が上がった。そのおかげで天狗のふもとまで集材線を張って一気に集材ができるようになった。現場が須垣谷や1号インクラインの周辺あたりまでは土川にある実家から通い、その後は現場小屋へ住みこんだ。30数年ごろになって見よう見まねでそま仕事もやった。

続『馬路村の巨樹名木』⑦

魚梁瀬丸山台地から約1時間（19km）、西又東又林道も終点が近い2128林班東端付近へ車を置く。林道を少し先へ歩き、赤土がざれこむ小

さなサコから登り始める。近くのウネに踏み道をさがし、急坂の植林地内を1時間ほど登ると、まわりの林相が一変する。徳島県との境をなす東

西へのびる稜線へ打ちあがったのだ。

庭師の手が加わっているのではと、場違いな錯覚をおこさせるほどに「人好み」の自然林である。県境の稜線から想像させる荒々しさはどこにもない。10月の末、木立の下は一足先に散った落ち葉でうまっている。もちろん頭上で

甚吉森へ続く稜線の木立

倒木にも降りかかる落ち葉はまだ鮮やかな色彩を残している。絡むカズラが静寂のなかに動感を演出する。



稜線にはブナやトチノキ、イチイ、ヒノキなどの高木もあるが、ここでは木立がトンネルを形成し、そのなかを小道が続く。落ち葉のたい積が繰り返され深い腐葉土となっている。

今を盛りとする黄葉のシロモジや赤葉のカエデ類も目をひくが、今は地表が美しい。散つてなお鮮やかな色を残しているものが主役なのか、茶と化したものがそうなのか。複雑にからむ大小の葉脈がなすことか、不規則に大きく、いや細かくも縮れた落ち葉が、光と影が交差し太糸の編み物のようだ。この秋、まだ誰も踏み込んでいない。

甚吉森へ向かう。トチノキの足元を通っていることを、落ち葉が教えてくれる。長さ25cmほどの特徴ある落ち葉が渦巻いているのだ。それまでの「カサカサ」という足音が濁音が交じり、にぎやかでもある。まわりのブナは黄色と

頂上は超一級の展望

いふより、今は金色に近い。

◆ ◆
適度なアップダウンを繰り返して、最後に少しのぼると甚吉森の頂上に立つ。登り口から3時間少々を要した。村内で最も高い標高（1,423m）を誇りながらもお皿をふせたようなおだやかな頂上である。ほぼ360度を見渡すことができ、ほかにはない超一級の展望だ。真北には建物や鉄塔が目印となる徳島県剣山、40度近く西に寄ると旧物部村の北に位置する白髪山や三嶺を望み、南半分には魚梁瀬山の全容を見渡すことができる。南谷近くの東屋も確認できる。

千本山は甚吉森から南へ

伸びる半島だ、という古老の言葉がここでは実感できる。たしかに旺盛な成長期にある若い人工林と違い、千本山は黒い森となって足元から伸びている。ドイツには黒い森（Schwarzwald）というモミを主体とした森林地帯があり国民に親しまれていると聞いた。千本山を見下ろすと他の山々との違いがきわだっている。かけがえのない財産が魚梁瀬にはある。

そのまま東にたどるとお化け杉に達するが縦走は次の機会に譲り、帰路も同じ経路とした。稜線から林道へ降りこむ分岐が分かりづらいので注意を要する。登山口まで2時間であった。

〔調査：平成20年10月30日〕



馬路村の
歴史と
伝説

山中
巖



〈通算第141回〉

一 画題

一ノ谷図

平家の公達

平敦盛
たいらのあつもり

五 参考事項

(ア) 一ノ谷は、神戸市須磨の西方の地名。

一一八四年、源義経が平氏の軍を打ち破ったところ。

二 奉納年

天保五年

(イ) 「平家物語」をお持ちの方はご覧になつてください。

三 形状

板絵着色屋根型

横二枚板・杉材

(ウ) 上部使用材裏面に墨書及び墨版あり。
(記載内容不明)

四 銘文

「天保五年八月」

「諸願成就」

「土居潮成謹拝」

(エ) なお、平家物語などに題材を得て、武士道に情を取り入れた浄瑠璃が語られ、歌舞伎で演じられるようになった。

(オ) 一ノ谷の戦に敗れ、一人敗走する平敦盛が熊谷直実たけのあたかもに討たれ、敦盛を討った直実が供養した話は、平家物語などに収められている。



おらが村の学校便り①

学校便りをもっと身近に
リニューアルしました！

学校をより身近に感じていただけるように、村内の学校の取り組みや、子どもたちの様子や表情などお伝えしていきます。子どもたちの成長をいっしょに見守ってください。

馬路・平和学習

夏休みの全校登校日（終戦記念日）に平和集会を行いました。今年は標語の発表と「折り鶴」の合唱。そして村在住の岩城佳子さんと国広安子さんに戦争体験談をお聞きしました。



13歳の時、朝鮮北部のチョンジンにいた岩城さんは、ソ連の侵攻から逃れようと命からがら38度線を越え、本土に戻られました。
終戦時、国広さんは20歳。当時は神風が吹いて日本は勝つと思っていたそうです。食糧不足に耐え、はるか上空を飛ぶ敵機を憎み、たくさんの兵士を見送られました。

最後にお2人から「戦争は

国と国との人の殺し合いです。日本はとてもしけないことをしました。たくさんの被害も受けました。二度と戦争が起らないよう、皆さんは両親や先生の言うことをよく聞いてしっかり勉強してください」と児童に呼びかけられました。

中芸水泳記録会

今年の中芸水泳記録会は、7月29日、安田中学校で行われました。夏休みに入っても毎日泳ぎの練習を重ねてきた子どもたち。少し緊張しつつ、楽しみながら臨んでいました。

懸命の泳ぎに拍手！

子どもたちは自由形や平泳ぎなど、自分の得意な泳ぎで記録に挑戦します。ふだん泳ぎ慣れている所とは違う中学校の大きなプール。でもみんな真剣な表情で一生懸命の泳ぎを見せてくれるので、応援に力が入ります。本番の緊張感もあってか、いつもよりいいタイムが出る子どもも多く、応援席に帰ると、大きな拍手に迎えられていました。

白熱した混合チームリレー

最後の種目、20メートル男子のリレーには、馬路から5・6年生の3人、魚梁瀬から5年生が1人、代表で出場しました。スタートの合図とともに勢いよく飛び込みます。思わず応援席でも手に汗握る白熱したレース。気がつけば馬路も魚梁瀬も、大人も子どもも一緒に声張りを上げていました。一番でゴールしたものの、フライングで残念な結果に。でも、選手も応援も一つになった素晴らしいレースでした。



フェスティバル魚梁瀬

夏休みに入った初日、魚梁瀬では恒例の夏祭りがありました。

礼儀が大事

相撲で一番大事にされているのは礼儀作法です。一礼をして土俵に入り、「よいしゅう！」という周りの子どもたちのかけ声を聞きながら四股を踏みます。蹲踞や拍手の格好に最初は足が痛くてつらそうな子どももいました。丁寧に、礼儀正しく、力いっぱい相撲をとる姿はりりしく、見る人に感動を与えました。

楽しい夜祭り

歌謡ショーに女の子たちが浴衣を着て登場したり、間近で見られる花火を楽しんだりして、楽しいひと時を過ごしました。



チャレンジデイ

〈室戸の自然を満喫〉

7月9日(木)・10日(金)の2日間、国立室戸青少年自然の家での体験活動がありました。馬路中学校では、修学旅行のない年に「チャレンジデイ」と銘打って、普段の学校生活ではできない活動にチャレンジしています。

この日のために、生徒会執行部は、話し合いを重ね、全校生徒が楽しめる行事になるように、計画を立てました。当日は、子どもたちの願いが通じたのか前日までの梅雨空がうそのように晴れ、心配していた海の活動もでき、室戸の自然を満喫した2日間になりました。



1日目の主な活動は、なんといってもオーシャン・カヤック。山に囲まれている馬路村では絶対に体験できない海での活動です。3人1組になった子どもたちは、自然の家のお兄さんにカヤックの扱い方を教えてもらい港へGO。悪戦苦闘しながらも、徐々にコツをつかみ、活動が終わるころには、全員がカヤックを乗りこなしていました。



自然の家での、もうひとつのお楽しみは暗闇体験です。真っ暗な山道を、懐中電灯の灯りだけを頼りに目的地まで歩いていく体験に、思わず泣き出す女子もいましたが、本当の暗闇を知らない今の子どもたちには貴重な体験となったのではないのでしょうか。

夏の全校キャンプ

〈野外活動に学ぶ〉

2日目は、予定していたミニクルージングはできませんでしたが、海洋深層水研究所や海底地震総合観測所を見学し、その後は室戸岬の遊歩道を散策しました。馬路では見られない植物を観察したり、空海が修行したといわれるみくろ洞を見学したり、教室ではできない学習がたくさんできました。この2日間を通して、子どもたちは様々なことに挑戦し、またひとつ成長したことでしょう。

魚梁瀬のオートキャンプ場は、緑の木々に囲まれ、ダム湖を見下ろす抜群のロケーションにあります。子どもたちも大好きなこのキャンプ場で、7月8日(水)・9日(木)に全校キャンプがありました。



魚梁瀬中学校では、隔年でキャンプを行っており、生徒たちにとって最も楽しみな行事の一つです。



8日は、学期末テストの最終日でもあり、一学期のまとめとなる大事なテストをやりました。終わった後のキャンプは、喜びもひとしお、生徒たちはわくわくする気持ちを抑えきれず、笑顔いっぱいでお出しました。



道具や条件が限られた中で野外活動は、知恵や工夫、行動力や団結力が問われます。自分たちで献立を考え、火をおこすことから調理まで、一人一人が役割を担い、力を合わせて生き生きと活動していました。まきの煙と格闘しながらおこした火で、炒めたり煮込んだりした夕食は、手間と愛情をかけた温かい味がしました。日が暮れた後は、スイカ割り(満腹でもスイカは別腹!)、花火などを楽しみ、山の中のキャンプ場に大きな笑い声が響きました。





外国語指導助手 ナオミ・クロスビー・イワサキ
(アイルランド ダブリン出身)



故郷での夏休み

夏休みを故郷で過ごすのは、今年が初めてです。過ごしにくいアイルランドの夏から逃れるために、たいてい、ヨーロッパのどこかの国へ出かけているので、なんだか不思議な気持ちでしたが、友だちや家族と一緒に過ごすことができよかったです。会いたかったすべての人たちに会うには少し時間が足りないぐらいでしたが、2週間半、故郷で過ごしました。

アイルランドへ帰り着いた時、すぐにでも寝たかったのですが(20時間以上かかったので)、家族は私をそうしてはくれず、私はギネス(アイルランド産の黒ビール)を2本も飲むことになってしまいました。次の日、ダブリンの友達に会いに行き、一緒にアイルランド対オーストラリアのフットボールの試合を見ましたが、残念ながらアイルランドは3対0で負けてしまいました…でも、次は、きっと!

アイルランドにいる間に、スコットランドの友達のところに行き、グラスゴー(南西部の港市)やエディンバラ(首都・多くの観光客で賑わう芸術祭典が行われる場所)、聖アンドリュー(ゴルフの発祥地)を訪れました。



▲写真：聖アンドリューにて

故郷でリフレッシュ

また、ローモンド湖のほとりにある幽霊ホテルと呼ばれているところに泊まりました。皆さんは、ローモンド湖についての歌(“ロッホ・ローモンド”)なんて知らないと思っているかもしれませんが、実は聞いたことがあるのです。私は馬路小学校の子どもたちが演奏しているのを度々耳にします。この幽霊ホテルは1705年に建てられたもので、いろいろな言い伝えがあります。そのひとつは、近くの川で少女がでし死し、発見後にこのホテルに置かれていたという話で、客の多くは、ベッドの隣にいる冷たく、濡れた物体に気づき、夜中に目が覚めるそうです。果たして、私は幽霊を見たのでしょうか…いいえ。しかし、私はこの不思議な場所で貴重な時を過ごすことができました。

アイルランドの西の方にあるリメリック市を訪れた時、ある晩バブへ行くと、お酒を飲みに来ていたアイルランドの防衛大臣“ウィリー・オーデイ”に偶然会いました。私が彼に写真を撮らせてくれるように頼みましたところ、快く引き受けてくれましたが、その時、彼はこう言いました。「この写真を見た日本人の誰も僕が防衛大臣なんて信じないよ!」と。



▲右:ウィリー・オーデイ氏

アイルランドから日本への直行便がないので、ロンドン経由で帰りましたが、ロンドンへ向かう飛行機内で、なんと、アイルランドの大統領“メアリー・マッカーレス”と一緒にになりました。経済危機に直面しているアイルランドの大統領が、専用機を使っていないことを知り、うれしく思いました。

私は故郷ですばらしい時を過ごしましたが、馬路に戻ってくることが楽しみでもありました。また、馬路に来たことのある私の友達や家族みんなが、「馬路の皆さんによろしく」「皆さんの優しさにもう一度お礼を言いたい」と申ししていました。

“本当にありがとう。そして、これからも、どうかよろしくお願いします”



～Dr.内田のひとりごと～

10月に入り、朝夕めっきり涼しくなりました。スポーツの秋で体育祭などスポーツイベントも盛りだくさん、また、食欲の秋で美味

いものもたくさんありますね。「食欲の秋だから食べ過ぎちゃうのよね」という人も時々おられますよ。そう、そのあなたです。

さて、今回はヘリ搬送について解説したいと思います。

なぜヘリ搬送か

高知県は山間部の面積が広く交通のアクセスが悪いため、救急要請をしてから傷病者を収容し病院に到着するまで1時間以上かかる地域が多く存在します。さらに医師が偏在しており、高知市内まで搬送しないと高度な医療が受けられない状況です。特に重症外傷においては、緊急手術が唯一の救命手段である場合、受傷後1時間以内（ゴールデンアワー）に手術が開始されたかどうかで生命予後が左右するとされています。

高知医療センターにおける患者ヘリ搬送数



消防防災ヘリ(りょうま)
時速260km/h

平成17年3月1日～平成21年3月31日までの約4年間の高知医療センターにおけるヘリ搬送患者数は749人で、内訳は外傷30%、心疾患24%、脳疾患19%、

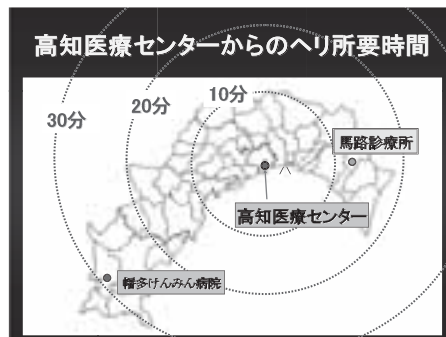
呼吸不全9%となっています。また、全体の約2/3がヘリ搬送をしなければ生命に危険を生じた可能性がある絶対的適応であり、約1/5が生命に直接危険はないがヘリ搬送をしなければ身体に障害を生じた可能性がある相対的適応となっています。ちなみに馬路村からは高知医療センターが開院した平成17年3月1日～平成21年9月末までに17人のヘリ搬送がありました。



ヘリの要請から収容・搬送の流れ

中芸消防を通してヘリ要請をします。早ければ要請から医師ピックアップ（医療センターの医師の迎え）まで15分、医療センターと馬路間は片道約15分です。救急医が患者と接触する時間などもあわせると、スムーズにいけばヘリ要請から医療センター到着まで約1時間です。ただし、夜間や荒天時はヘリの運行はできません。

一方救急車による搬送の場合、救急要請（119番通報）から救急車が馬路に到着するまで約30分、患者収容してから田野までは約30分、安芸までは約45分、高知市内までは1時間半から2時間かかります。魚梁瀬地区はさらに馬路・魚梁瀬間の往復で約1時間余分にかかります。



ヘリ搬送の適応疾患

ヘリ搬送が有用と思われるのはとにかく一刻を争う疾患です。外傷（特に交通事故や転落などといった高エネルギー外傷）、心血管疾患（急性心筋梗塞、致死的不整脈など）、脳疾患（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など）、呼吸不全などです。意識障害を伴う場合はまずヘリ搬送の適応といってもいいでしょう。

ひとこと

最近の我が家での会話

「寒くて産毛がたった」「産毛じゃない。とびひで」
（それって鳥肌のことね）

「おなかが痛い。仮病になったき保育園休む」
（おいっ、仮病かい！）

こうして子どもたちは日本語を覚えていくんだろうな、と感じる今日このごろです。



馬路村文化祭は延期されます

12月に実施しておりました文化祭並びに芸能発表会は、会場の体育館が耐震と改修工事が行われますので、工事完成後の2月20・21日に改修された体育館で開催することが文化祭実行委員会で決定されました。出品作品制作や芸能発表会及び食堂などの会場運営に、皆さまのご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

馬路村教育委員会
TEL 44・2216

ふるさとの景観 写真コンテスト

にほんの里100選

「相名」選定記念

○募集中 テーマ

にほんの里100選に選定された『相名』部落の四季の景観や人々の暮らしの様子などを主題とした写真

作品規定

サイズ 4ツ切り限定
(ワイドを含む)

応募先・締切

馬路村教育委員会まで
平成22年1月22日必着

応募方法

お一人5点以内
折込チラシを応募用紙に必要事項を記入の上、作品裏面に添付してください。

審査発表

平成22年2月開催
「第37回馬路村文化祭」にて

賞品

折込チラシをご覧ください。

著作権等

作品の著作権および著作権等の利用権は主催者側に属します。

問い合わせ先

馬路村教育委員会
TEL 44・2216

図書いまどき

本年度から県の事業で公立図書館のない市町村に「子ども読書活動支援員」が配置されています。絵本の読み聞かせのボランティア活動でもお世話になっている、相名の中村千代さんが活躍してくれています。委員会の図書室だけでなく、馬路小中学校にも派遣され、司書不在の学校の図書室に新鮮な風を吹き込んでくれています。

委員会の図書室

就業改善センター1階
新刊入りました♪
1Q84①② 村上春樹

移動図書館の巡回について

利用場所 馬路保育所
馬路小学校

巡回日 11月5日(木)

巡回時間

保育所

午前11時ごろから

午前11時40分ごろまで

小学校

午後1時ごろから

午後2時ごろまで

問い合わせ先

馬路村教育委員会
TEL 44・2216

無料調停相談会

安芸地区調停協会では、本年度の「法の日週間」の行事の一環として、中芸地区および安芸市、芸西村、室戸市等を対象とした調停相談会を次のとおり行います。

相談内容は、民事(金銭関係、土地、建物、交通事故)、家事(夫婦関係、親子関係、相続問題)その他に関連する問題です。ひとりで悩まず、お気軽に相談においでください。

相談は、安芸地区調停協会所属調停委員が担当します。相談内容については、秘密が厳守されます。

日時

10月26日(月)

午前10時から

午後3時まで

(午後2時30分までにお入りください。)

場所

奈半利町立町民会館

住所

安芸郡奈半利町乙
1297-1

問い合わせ先

安芸地区調停協会
TEL 0887・35・2065

「みんなで つくろう 安心の街」

全国地域安全運動

10月11日(日)から

20日(火)まで

今年も、全国一斉に地域安全運動が実施されます。

期間中、安芸地区地域安全協会と安芸警察署では、地域安全推進員をはじめとする自主防犯組織のタウンポリスなど、地域の防犯団体と連携して「みんなで つくろう 安心の街」をスローガンに、地域安全運動を推進していきます。

運動の重点

- (1) 子どもと女性の
犯罪被害防止
- (2) 住宅を対象とする
侵入犯罪の防止
- (3) 振り込め詐欺の被害
防止
- (4) 少年の健全育成



みんなで つくろう 安心の街

10月・11月むらの行事予定

| 10 月 | |
|------|---|
| 1 | 木 |
| 2 | 金 |
| 3 | 土 |
| 4 | 日 |
| 5 | 月 |
| 6 | 火 |
| 7 | 水 |
| 8 | 木 |
| 9 | 金 |
| 10 | 土 |
| 11 | 日 |
| 12 | 月 |
| 13 | 火 |
| 14 | 水 |
| 15 | 木 |
| 16 | 金 |
| 17 | 土 |
| 18 | 日 |
| 19 | 月 |
| 20 | 火 |
| 21 | 水 |
| 22 | 木 |
| 23 | 金 |
| 24 | 土 |
| 25 | 日 |
| 26 | 月 |
| 27 | 火 |
| 28 | 水 |
| 29 | 木 |
| 30 | 金 |
| 31 | 土 |

| 11 月 | |
|------|---|
| 1 | 日 |
| 2 | 月 |
| 3 | 火 |
| 4 | 水 |
| 5 | 木 |
| 6 | 金 |
| 7 | 土 |
| 8 | 日 |
| 9 | 月 |
| 10 | 火 |
| 11 | 水 |
| 12 | 木 |
| 13 | 金 |
| 14 | 土 |
| 15 | 日 |
| 16 | 月 |
| 17 | 火 |
| 18 | 水 |
| 19 | 木 |
| 20 | 金 |
| 21 | 土 |
| 22 | 日 |
| 23 | 月 |
| 24 | 火 |
| 25 | 水 |
| 26 | 木 |
| 27 | 金 |
| 28 | 土 |
| 29 | 日 |
| 30 | 月 |

| 人口 月中異動 | 増 加 | | | | 減 少 | | | | 月末現在 人口合計 |
|------------|-----|----|----|---|-----|----|----|---|--------------|
| | 出生 | 転入 | 職権 | 計 | 死亡 | 転出 | 職権 | 計 | |
| 8 月 | | 1 | | 1 | 1 | 5 | | 6 | 1,051 |
| 9 月 | 1 | 2 | | 3 | | 2 | | 2 | 1,052 |

馬 路 826人、363世帯
 魚梁瀬 226人、116世帯
 馬路村特別村民 3,993人
 (9月30日現在)



村内あちらこちら



8月15日 馬路納涼祭



8月20日 うどん作り教室



9月13日 馬路ピアノ教室発表会



9月20日 馬路おしどりマラソン大会



9月27日 魚梁瀬保・小・中合同運動会

村のできごと

8月

- 5日 魚梁瀬地区ペタンク大会
(魚梁瀬小中学校体育館)
- 6日 夏休み子ども体験事業／和菓子作り教室
(就業改善センター)
- 7日 歌って走ってキャラバンバン(ゆずの森加工場)
- 8日 夏休み子ども体験事業／親子絵本作り教室
(就業改善センター)～9日
- 12日 夏休み子ども体験事業／木工教室
(馬路小学校図工教室)
- 15日 馬路納涼祭(馬路温泉駐車場)
- 17日 夏休み子ども体験事業／アロマ石けん作り教室
(交流センター)
- 20日 夏休み子ども体験事業／うどん作り教室
(就業改善センター)
- 25日 かつこよくなる男の道場(馬路体育館)
- 27日 夏休み子ども体験事業／わくわく科学教室
(就業改善センター)
- 29日 ギター教室発表会(馬路温泉別館ロビー)
- 30日 第45回衆議院議員総選挙・第21回最高裁判所
裁判官国民審査

9月

- 8日 魚梁瀬敬老会(多目的施設)
- 9日 馬路敬老会(就業改善センター)
第15回馬路地区スカッシュバレーボール大会
(馬路体育館)～10日
- 13日 馬路ピアノ教室発表会(就業改善センター)
- 20日 第29回馬路おしどりマラソン大会
(馬路温泉前スタート・ゴール)
- 21日 馬路保・小・中合同運動会(馬路村民グラウンド)
- 27日 魚梁瀬保・小・中合同運動会
(魚梁瀬小中学校運動場)

編集後記

すっかり秋が深まってまいりました。学校の運動会も終わり、気が早いもので感覚的に秋が終わったという気になります。村内では田んぼの稲刈りもほとんど終わって、次はユズの収穫を待つばかりとなりました。

まだ村民運動会をひかえていますが、それが終わるといよいよ冬の到来が加速していきます。今年もあと3カ月、まだまだ行事が残っていますが、村民の皆さまのご協力をよろしく願っています。

(一)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443

TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010

E-mail umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 高知印刷株式会社